

一般競争入札を行いますので、京都市上下水道局契約規程第7条の規定に基づき、次のとおり公告します。

平成24年10月22日

京都市公営企業管理者

上下水道局長 水田 雅博

1 一般競争入札に付する事項

(1) 工事件名

経年管対策(その46)公共下水道工事

(2) 工事場所

京都市東山区月見町他地内

(3) 工事概要

ア 円形管布設工

250ミリメートル L = 14.25メートル

300ミリメートル L = 31.88メートル

イ 円形管更生工

150ミリメートル L = 24.60メートル

200ミリメートル L = 21.25メートル

230ミリメートル L = 166.60メートル

250ミリメートル L = 209.95メートル

300ミリメートル L = 1,040.65メートル

350ミリメートル L = 9.50メートル

380ミリメートル L = 609.70メートル

400ミリメートル L = 10.85メートル

450ミリメートル L = 457.90メートル

(4) 工期

契約の日から300日以内

(5) 支払条件

ア 前金払

請負代金の4割を超えない範囲内(中間前払金については2割を超えない範囲内)の額を支払う。ただし、契約時に部分払を選択した場合は、中間前払金を請求

することはできないこととする。

なお、低入札価格調査制度に基づく低入札価格調査（以下「低入札価格調査」という。）を経て契約することとなった場合には、上記の4割を2割と読み替えるとともに、中間前払金の支払対象外とする。

#### イ 部分払

出来形部分に相応する部分払は必要に応じて行う。ただし、契約時に中間前払金を選択した場合は、部分払を請求することはできないこととする。

- (6) 本件入札は、総合評価方式（特別簡易型）により行う。その概要は、5(1)及び(2)において示す。

なお、詳細については、入札参加資格の確認結果通知の際に3(1)の場所で交付する「経年管対策（その46）公共下水道工事に係る落札者決定基準」（以下「落札者決定基準」という。）において示す。

## 2 参加資格に関する事項

本件入札の一般競争入札参加資格確認申請書を提出する日（(2)、(4)ア及び(4)イにあっては、提出の日から参加資格の確認の日までの間、(4)ウにあっては競争入札参加資格確認の日。）において、次に掲げる全ての条件を満たす者

- (1) 京都市上下水道局競争入札等取扱要綱（以下「要綱」という。）第3条の規定に基づき、平成24年度の土木工事の種目のランクが「A1」であること。
- (2) 要綱第27条第1項の規定に基づく競争入札の参加停止措置を受けていないこと。
- (3) 建設業法の定めるところにより、本件工事の施工に必要な監理技術者を当該工事に専任で配置できること。

なお、配置予定の技術者は、常勤の自社社員であり、かつ、入札参加の申出日において引き続き3箇月以上の雇用関係があることとし、実際に配置する技術者の変更については、相当の理由があるものとして当局の承認を受けた場合を除き、認めないものとする。

- (4) 以下のいずれにも該当していないこと。

ア 京都市上下水道局が実施した当該種目における一般競争入札（共同企業体による入札を含む。ただし、共同企業体による入札の場合は、平成24年1月1日以降に公告したものに限る。）において、低入札価格調査を経て契約したことにより、新たな入札への参加を制限されている場合

イ 京都市上下水道局が実施中の落札決定に至っていない同種目の他の入札（共同企業体による入札を含む。ただし、共同企業体による入札の場合は、平成24年1月1日以降に公告したものに限る。）で低入札価格調査の対象となる応札を行っている場合。

ただし、低入札調査基準価格を事前公表しない案件において、調査辞退届を提出した場合又は失格基準を下回る価格で応札し失格となった場合を除く。

ウ 京都市上下水道局が平成24年7月1日以降に公告した同一等級対象の一般競争入札（共同企業体による入札を含む。以下同じ。）において、以下の(ア)から(ウ)に該当することにより、年間（7月1日から6月30日までとする。）における新たな入札への参加を制限されている場合。

(ア) 既に2件落札している場合。

(イ) 既に1件落札している場合で、本件入札以外の落札決定に至らない案件について、入札参加申請をしている場合。

(ウ) 1件も落札していない場合で、本件入札以外の落札決定に至らない案件について、2件以上の入札参加申請をしている場合。

なお、(イ)及び(ウ)においては、入札参加資格確認申請書の提出の日に関わらず、入札参加資格確認の日（ただし、事後確認型一般競争入札にあつては、入札期間の初日）を入札参加申請日とみなす。

エ 上記ウ(イ)及び(ウ)の本件入札以外の落札決定に至らない案件と、本件入札の開札日が同日である場合には、その者の行った入札を全て無効とする。

#### (5) 関係会社の参加制限

本件入札に参加しようとする者で、次の各号のいずれかの関係に該当する場合は、そのうちの1者しか参加できない。

#### ア 資本関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社（会社法第2条第3号及び会社法施行規則第3条の規定による子会社をいう。以下同じ。）又は子会社の一方が会社更生法第2条第7項に規定する更生会社（以下「更生会社」という。）又は民事再生法第2条第4号に規定する再生手続が存続中の会社である場合を除く。

(ア) 親会社（会社法第2条第4号及び会社法施行規則第3条の規定による親会社をいう。以下同じ。）と子会社の関係にある場合

(イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

イ 人的関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、(ア)については、会社の一方が更生会社又は民事再生法第2条第4号に規定する再生手続が存続中の会社である場合を除く。

(ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合

(イ) 一方の会社の役員が、他方の会社の会社更生法第67条第1項又は民事再生法第64条第2項の規定により選任された管財人を現に兼ねている場合

ウ その他入札の適正さが阻害されると認められる場合

前各号と同視し得る資本関係又は人的関係にあると認められる場合

3 一般競争入札参加資格確認申請書等の交付

(1) 問合せ先

〒601-8004 京都市南区東九条東山王町12番地

京都市上下水道局本庁舎1階

京都市上下水道局総務部用度課

(電話 075-672-7728)

ホームページのアドレス

[http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/soshiki/27-1-4-0-0\\_6.html](http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/soshiki/27-1-4-0-0_6.html)

(2) 交付期間

この公告の日から平成24年10月26日(金)午後5時まで

(3) 交付方法

(1)の用度課のホームページに入札公告と併せて入札参加資格確認申請書等を掲示するので、用度課のホームページから当該申請書等をダウンロードのうえ、A4判の帳票として印刷し使用すること。

4 入札方式及び競争入札の参加資格の確認手続

(1) 入札方式

ア 本件入札は、京都市電子入札システムにより行う。

イ 電子入札コアシステムに対応している認証局が発行したICカード(本市に提出済みの「使用印鑑届」と同一人のもの又は受任者がいる場合には受任者のもので、かつ落札決定の日時までの間において有効であるものに限る。)を取得したうえで、

京都市電子入札システムへの利用者登録を行っている者が、インターネットを利用して入札データを送信する。

(2) 参加資格の確認の申請

入札に参加しようとする者は、次に掲げる書類（以下「申請書類」という。）を添付のうえ、京都市電子入札システムへ送信し、入札参加資格について審査を受けること。

ア 一般競争入札参加資格確認申請書

イ 2(3)に掲げる条件に関する書類等

(3) 申請書類の提出期間

この公告の日から平成24年10月26日（金）までの午前9時から午後5時まで

(4) 参加資格の確認の通知並びに工事の設計書及び図面等について

申請書類の受領後、競争入札の参加資格の確認を行い、平成24年11月5日（月）に、確認結果を電子メールで送信するので、京都市電子入札システムにより確認すること。

工事の設計書及び図面については、平成24年11月13日（火）までにビジネスサービス株式会社（京都市伏見区竹田久保町2-96 電話075-645-2212）において購入すること（購入時間は、午前9時から午後5時までとする。）。この参加資格の確認の通知日から平成24年11月13日（火）までの期間に設計書及び図面の購入をされなかった場合、積算不能として本件入札に参加することができないものとする。

(5) 参加資格がないと認められた者に対する理由の説明

ア 参加資格がないと認められた者は、管理者に対し、書面により競争入札の参加資格がないと認められた理由の説明を求めることができる。

なお、当該書面は、平成24年11月7日（水）までに、3(1)の場所に提出すること。

イ 管理者はアによる説明を求められたときは、平成24年11月9日（金）までに、当該説明を求めた者に対し、書面により回答するものとする。

(6) 参加資格の確認の取消し

本件参加資格があると認められた者が、落札決定までの間に、次の各号のいずれかに該当することとなったときは、管理者は(4)による通知を取り消し、改めてその旨を通知

するものとする。

ア 京都市上下水道局契約規程第3条に規定する一般競争入札参加者の資格を喪失したとき。

イ 2に規定する本件入札に参加する者に必要な資格を喪失したとき。

ウ 要綱第27条第1項の規定に基づく競争入札の参加停止措置を受けたとき。

エ 京都市上下水道局が実施した当該種目における一般競争入札（共同企業体による入札を含む。ただし、共同企業体による入札の場合は、平成24年1月1日以降に公告したものに限る。）において、低入札価格調査を経て契約したことにより、新たな入札への参加を制限されたとき。

オ 京都市上下水道局が実施中の落札決定に至っていない同種目の他の入札（共同企業体による入札を含む。ただし、共同企業体による入札の場合は、平成24年1月1日以降に公告したものに限る。）で低入札価格調査の対象となる応札を行ったとき。ただし、低入札調査基準価格を事前公表しない案件において、調査辞退届を提出した場合（本件入札の開札日の直前の開庁日の午後5時までに提出した場合に限る。）又は失格基準を下回る価格で応札し失格となった場合を除く。

カ 5(1)の技術資料について、落札者決定基準に示す欠格事項に該当する場合のほか、必要事項等について記載漏れのないものを提出しなかったとき。

なお、技術資料を提出しなかった場合には、参加資格の取消しと併せて無断欠席扱いとし、参加停止措置を行う。

キ その他管理者が特に入札に参加させることが不相当であると認めたとき。

## 5 総合評価の手続

総合評価は、次の手続により行う。

### (1) 技術資料の提出

必要事項等について、記載漏れのないように技術資料を提出すること。

なお、提出期日及び提出場所は次のとおりとする。

#### ア 提出期限

平成24年11月15日（木）

#### イ 提出場所

3(1)の場所

### (2) 技術資料の評価

入札参加資格の確認結果通知の際に交付する落札者決定基準に定めるところにより総合的に評価する。

なお、本件の配置予定技術者のうち1名については、下記のとおり評価する。

#### ア 施工実績

平成14年度以降に元請として受注し、技術資料提出期限までに完成済みの国又は地方公共団体が発注した同種工事又は類似工事のうち、配置予定技術者が監理技術者又は主任技術者として従事した実績を評価する。この場合において同種工事とは、下水道管更生工法のうち反転工法又は形成工法により1スパン（人孔間）30メートル以上を施工した工事とする。類似工事とは、同種工事に該当する工事以外で、下水道管更生工法又は修繕工法（止水工法、内面補強工法又はライニング工法）により施工した工事とする。ただし、共同企業体の構成員としての施工実績の場合は、監理技術者又は主任技術者として従事していた場合で、かつ出資比率が20パーセント以上の場合に限るものとする。

なお、同種工事及び類似工事のいずれの工法も財団法人下水道新技術推進機構による建設技術審査証明を受けていること。

また、配置予定技術者の従事期間については、原則として、当初契約工期の全期間に従事したものとする。ただし、1年を超える当初契約工期を有する工事は、1年以上の期間に従事期間とする。

#### イ 配置予定技術者のCPD取得状況

配置予定技術者が平成23年4月1日から平成24年3月31日までの期間に取得した継続教育（CPD）の単位について評価する。

評価水準については、一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会にあっては20ユニット以上、公益社団法人日本技術士会にあっては50CPD時間以上、公益社団法人土木学会にあっては50CPD単位以上、又はその他の建設系CPD加入団体にあっては当該団体の示す推奨単位以上とする。ただし、単一企業の社内研修会は単位数算定の対象外とする場合がある。

#### 6 予定価格、低入札調査基準価格及び失格基準の公表

予定価格については、4(4)の通知の日に公表する。また、低入札調査基準価格及び失格基準については、開札日に公表する。

#### 7 入札期間及び開札日時

(1) 入札期間

平成24年11月30日(金), 12月3日(月)及び12月4日(火)の午前9時から午後5時まで

(2) 開札日時

平成24年12月5日(水)午前9時から開札し, 落札者を決定する。

なお, 落札者に対しては, 落札結果を電子入札システムにより確認するよう, 電子メールを送信する。

(3) 入札の執行結果の公表

入札の執行結果は, 決定後, 3(1)の場所で閲覧に供し, 併せて用度課のホームページにおいて公表する。

(4) 入札者は, 消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず, 消費税及び地方消費税を含まない金額にて入札すること。

8 落札者の決定方法及び低入札価格調査

技術資料等の評価による得点を入札価格で除すことによって得た数値(以下「総合評価点」という。)の最も高い者を落札者とする。ただし, 低入札価格調査制度の調査基準価格を下回る価格で入札を行った場合(以下, その入札者を「低入札価格入札者」という。)は, 同制度による調査を実施するので, 平成24年12月7日(金)午後5時までに低入札価格調査に必要な書類等(以下「低入札価格調査資料」という。)を3(1)の場所に提出すること。低入札価格調査に係る調査項目等の詳細は, 3(1)の場所において掲示する。

低入札価格入札者が, 低入札価格調査資料を期日までに提出しない場合は, 理由の如何を問わず入札参加資格を取り消し, その者に対し要綱第27条第1項の規定に基づき, 競争入札参加停止措置を行う。ただし, 低入札調査基準価格を事前公表しない案件については, 調査辞退届の提出をもって, 低入札価格調査資料が提出されたものとみなす。

契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認めるときは, その者との契約を行わない。

なお, 最も高い総合評価点を得た者が2者以上ある場合は, 入札価格がより低い者を落札者とする。この場合において, 入札価格が同額である者が複数あるときは, 入札価格が同額である者の中から抽選により落札者を決定する。

9 低入札価格調査を経て落札者となった者の取扱い



- (1) 本件入札において、低入札価格調査を経て落札者となり契約した場合は、契約の日から当該請負者が提出する完成通知書に記載の完成の日（当該期間が1年を超える場合は、1年を経過する日）まで、京都市上下水道局が実施する当該種目の入札には参加できないものとする。
- (2) 本来の監理技術者に加えて、監理技術者の有資格者を担当技術者として専任で1名追加配置するものとする。ただし、当該追加配置技術者についても、2(3)に定める条件を満たしていること。

また、当該追加配置技術者の配置が可能なことを低入札価格調査において確認することとし、この点を確認できないときは失格とする。

- (3) 前払金を契約金額の4割から2割に引き下げることとする。
- (4) 契約保証金を契約金額の1割から3割に引き上げることとする。
- (5) 中間前払金制度を適用しないこととする。

#### 10 入札の無効

- (1) 京都市上下水道局契約規程第12条各号（第3号を除く。）に定めるもののほか、虚偽の申請により参加資格があると認められた者が行った入札は、無効とする。
- (2) 本件入札及び本件入札と開札日を同じくする他の同種目の工事の入札（共同企業体による入札を含む。ただし、共同企業体による入札の場合は、平成24年1月1日以降に公告したものに限る。）において低入札調査基準価格を下回る額の応札（以下「低価格入札」という。）を複数の入札で行った場合は、その者の行った低価格入札は全て無効とする。

#### 11 入札保証金及び契約保証金

- (1) 入札保証金  
免除
- (2) 契約保証金

納付。保証金額は契約金額の1割以上とする。ただし、有価証券等の提供又は銀行等による相応の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。

なお、低入札価格調査を経て契約することとなった場合には、上記の1割を3割と読み替えることとする。

## 1 2 その他

- (1) この調達は，政府調達に関する協定の適用を受けるものではない。
- (2) この手続において使用する言語及び通貨は，日本語及び日本国通貨とする。
- (3) 積算内訳書の提出

ア 入札参加者は，入札データを送信する際，入札金額に対応する積算内訳書を添付し，電子入札システムに到達させること。

イ 積算内訳書には，工事名及び工事場所，開札日，会社の商号又は名称，代表者役職及び代表者氏名を記載すること（入札者が端末機利用者の場合には，併せて登録印を押印すること。）。

ウ 積算内訳書については，少なくとも項目，単価，数量及び金額を記載するものとする。

エ 積算内訳書は，入札の参加条件として提出を求めるものであり，契約上の権利義務を生じるものではない。

- (4) 契約書作成の要否 要
- (5) 本公告に関する問合せ先 3(1)の問合せ先に同じ。
- (6) 設計図書等の内容や積算に関する質問は禁止する。
- (7) 公正な競争を確保するため，本件入札において互いに競争相手であった落札者（以下「契約者」という。）と落札者以外のもの（以下「非落札者」という。）とが，次に掲げる事項を行うことを禁止する。

ア 契約者が，非落札者に本件工事の施工に関して建設業法第2条第1項に規定する建設工事を請け負わせること。

イ 非落札者が，契約者から本件工事を請け負うこと（2次下請，3次下請その他契約者と直接契約を締結しない場合を含む。）。

- (8) 京都市暴力団排除条例第12条第5項の規定により，契約の締結時に同条例施行規則第6条第1項に規定する誓約書を提出すること。ただし，契約金額が1,500,000円未満である場合を除く。

なお，誓約書を提出しない場合は，契約を締結しない。

（上下水道局総務部用度課）